

事業評価シート（平成20年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	新庁舎建設事業		
事業担当	総務部 庁舎建設室		
予算科目	01-020101-140200	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	03	③〈利便性〉誰もが快適に利用できるよう、公共施設などの利便性を高める	
	01	1 安全で快適に利用できる公共施設の充実を図る	
根拠法令等			
対象・受益者	市民、来庁者、企業、職員	事業期間	～平成26年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
現庁舎の耐震性の危惧や分散化、狭あい化などが解消されて、市民サービスが向上し、災害時の拠点となる新庁舎が建設されています。		現庁舎における耐震性の不安や狭あい化、分散化などによる市民サービスの低下に対応するため、新庁舎の建設に向けて基本構想を策定し、基本設計や実施設計を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標実績								
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	新庁舎建設事業進捗率						単位	%
	説明・算定式	平成25年度を100%とした事業進捗率。H19：基本構想10%、H20：基本設計10%、H21：実施設計10%、H22、23：本体工事各年度30%、H24、25：駐車場工事等各年度5%							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標実績		10	20	30				
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標実績								
進捗状況	②：若干遅れている								
	遅れている理由	国合同庁舎との一体的整備という検討課題が加わったため。							
平成20年度の主な取組と成果									
平成20年1月に新庁舎建設基本構想策定委員会から提案を受けた基本構想（案）をもとに、国との一体的整備を含めて庁内検討を加え、基本構想を策定しました。この基本構想に基づき、基本設計・実施設計に向けた設計業者を公募型プロポーザル方式で特定しました。さらに、建築設計に必要な条件をまとめた「平塚市新庁舎建設基本計画」の策定のため、庁内で検討を行いました。									
平成20年度の検証結果	B：おおむね成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	平成18年度に実施した市民アンケート調査において「庁舎を新築したほうがよい」かどうかの質問について肯定的意見が74.9%あったことから市民ニーズは高く、必要性は高いと考えられます。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	災害時の拠点となる新庁舎を建設することは、「安全で、みんなが快適に暮らせるまち」の実現につながり、市民満足度を高めることから、十分に有効性は高いと考えられます。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	現庁舎における耐震性の危惧や分散化、狭あい化を解消して市民サービスを向上させ、災害時の拠点となる新庁舎を建設することは、十分に妥当性が高いと考えられます。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	新庁舎建設事業を進めていく上で、国合同庁舎との一体的整備について国との協議が必要であり、国との協議をいかに効率よく進めていくか検討の余地があります。	○ 高 ● 中 ○ 低	
今後に向けた課題の分析 国合同庁舎との一体的整備という全国でも初めての事例のため、財産の貸し付け、維持管理の方法など、さまざまな課題を解決する必要があります。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			基本構想策定	基本計画策定	基本設計・実施設計	建設工事発注手続、準備工事	建設工事	建設工事
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	1,100,000	1,846,000
	その他 特財	0	0	0	0	52,500	2,000,000	4,254,000
	一般財源	0	3,857	75,786	205,684	0	0	0
事業費 (A)		0	3,857	75,786	205,684	52,500	3,100,000	6,100,000
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	4.50	4.50	5.35	5.35	5.35	5.35
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	37,760	37,760	44,705	44,705	44,705	44,705
フルコスト (A+B)		0	41,617	113,546	250,389	97,205	3,144,705	6,144,705

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 新庁舎の建設に向けて建築設計を確実に進めていきます。	
平成22年度の実行方針	
建築設計を進めていく中で、ライフサイクルコストの視点から建設コストや建設後のランニングコストなどを考慮した経済性・機能性と建物デザイン(意匠)のバランスがとれた庁舎の建設を検討するとともに、国合同庁舎との一体的整備に伴う財産区分、工事発注方法、維持管理方法などを検討します。	
課長コメント	自治の基本に立ったまちづくりの拠点となる新庁舎を市民の視点である経済性・機能性・シンボル性を基本に事業を推進していこうと考えています。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	②：若干遅れている
主な取組と成果		学識経験者、市民等で構成する新庁舎建設基本構想策定委員会を設置し、全6回の会議を開催して新庁舎建設基本構想（案）をまとめた。平成20年1月に市は策定委員会から基本構想（案）の提案を受けたが、当初予定していなかった国合同庁舎との一体的整備についての検討が新たな課題として加わってきたため、庁内での検討体制を強化し、市としての基本構想の策定に向けて庁内で更に検討を行った。このことから全体的には進捗が遅れた。	平成20年1月に新庁舎建設基本構想策定委員会から提案を受けた基本構想（案）をもとに、国との一体的整備を含めて庁内検討を加え、基本構想を策定しました。この基本構想に基づき、基本設計・実施設計に向けた設計業者を公募型プロポーザル方式で特定しました。さらに、建築設計に必要な条件をまとめた「平塚市新庁舎建設基本計画」の策定のため、庁内で検討を行いました。
検証結果	—	B：おおむね成果があがった	B：おおむね成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		必要性、有効性、妥当性の総合評価は高いが、効率性の部分で国との協議をいかに効率よく進めていくかが課題である。	国合同庁舎との一体的整備という全国でも初めての事例のため、財産の貸し付け、維持管理の方法など、さまざまな課題を解決する必要があります。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	拡大して継続
取組方針		建築設計を進めていく中で、ライフサイクルコストの視点から建設コストや建設後のランニングコストなどを考慮した経済性・機能性と建物デザイン（意匠）のバランスがとれた庁舎の建設を検討する。	建築設計を進めていく中で、ライフサイクルコストの視点から建設コストや建設後のランニングコストなどを考慮した経済性・機能性と建物デザイン（意匠）のバランスがとれた庁舎の建設を検討するとともに、国合同庁舎との一体的整備に伴う財産区分、工事発注方法、維持管理方法などを検討します。
事業区分	—	実施計画事業	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民病院整備事業		
事業担当	市民病院 改築推進室		
予算科目	00-xxxxxx-xx0000	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	03	③〈利便性〉誰もが快適に利用できるよう、公共施設などの利便性を高める	
	01	1 安全で快適に利用できる公共施設の充実を図る	
根拠法令等			
対象・受益者	患者、来院者、職員	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
市民病院を再整備することにより、安全な医療サービスが提供されています。		安全な医療サービスを提供するため、市民病院の整備に向けた病院構想を確定し、基本設計や実施設計を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	市民病院整備進捗率						単位	%
	説明・算定式	平成27年度を100%とした市民病院整備進捗率。H19：将来構想策定等10%、H20：基本計画策定等10%、H21：基本設計等10%、H22：実施設計等10%、H23：着工10%、H24：建設10%							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		10	20	30	40	50	60	
	実績		5	17					
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
進捗状況	②：若干遅れている								
	遅れている理由	新棟建築整備基本計画書の精度を高めるため、平成21年度に検討を持ち越しました。							
平成20年度の主な取組と成果									
平成20年11月に「平塚市民病院将来構想」を策定しました。それに基づく「新棟建築整備基本計画書」の策定を開始しました。年度末には作成委託先から成果品を受け取りましたが、その精度を高めるため平成21年度に入っても院内の検討を続けることになりました。									
平成20年度の検証結果	B：おおむね成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	地域医療を支える基幹病院として救命救急を含めた高度医療の提供と、災害拠点病院として耐震性の高い建築が必要であり、それらへ市の関与は無くしてはなりません。
有効性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	耐震性の低い南棟の長期使用は、管理者責任を果たしていません。基幹病院として、災害医療拠点として安全安心な病院が必要であることから妥当と考えます。	● 高 ○ 低
妥当性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	民間病院建設コストと比べて、公立病院建設コストは割高です。研究は必要であるが、民間の設計思想、契約方法等は公立と大きな違いがあるため、安易に真似ることはできません。	● 高 ○ 中 ○ 低
効率性	今後に向けた課題の分析 南棟の早期使用停止、新たな病院機能を設置した新棟、工期短縮と工費節減等の具体化が課題です。				○ 高 ● 中 ○ 低

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			病院構想確定、建設手法検討、条件整備	条件整備、基本計画作成	設計者選定、基本計画確定、設計	設計	施工者選定、建築関係申請、建設	建設
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	182,000	1,715,000	1,967,000
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	101,200	35,000	127,254	118,377
事業費 (A)		0	0	0	101,200	217,000	1,842,254	2,085,377
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	1.70	1.70	1.70	4.70	5.70	5.70
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	14,265	14,265	14,206	39,274	47,630	47,630
フルコスト (A+B)		0	14,265	14,265	115,406	256,274	1,889,884	2,133,007

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 平成21年度中に設計委託業者の選定を行い、平成22年度末までに設計作業を完了させます。	
平成22年度の取組方針	
プロポーザル方式によって選定された、技術力や経験、プロジェクトにのぞむ体制が優れた業者との協調体制を築き、ライフサイクルコストと環境負荷の低減を実現する建物の設計を行います。	
課長コメント	基本設計をもとに、患者さん、医療従事者のニーズを反映させ、細部まで行き届いた実施設計としたいと考えています。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	③：遅れている	②：若干遅れている
主な取組と成果		平成19年3月に平塚市民病院将来構想策定委員会から「平塚市民病院将来構想（案）」の答申を受け、総務省が定めた「公立病院改革ガイドライン」の内容を加味した将来構想を検討したが、精度を高めることから想定以上の会議を開催することになり、全体的には進捗が遅れた。	平成20年11月に「平塚市民病院将来構想」を策定しました。それに基づく「新棟建築整備基本計画書」の策定を開始しました。年度末には作成委託先から成果品を受け取りましたが、その精度を高めるため平成21年度に入っても院内の検討を続けることになりました。
検証結果	—	C：十分に成果をあげることができなかった	B：おおむね成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		南棟の早期使用停止、新たな病院機能を設置した新棟、工期短縮と工費節減等の具体化が課題である。	南棟の早期使用停止、新たな病院機能を設置した新棟、工期短縮と工費節減等の具体化が課題です。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	拡大して継続
取組方針		プロポーザル方式等を採用し、コストパフォーマンスに優れた業者を選定する。	プロポーザル方式によって選定された、技術力や経験、プロジェクトにのぞむ体制が優れた業者との協調体制を築き、ライフサイクルコストと環境負荷の低減を実現する建物の設計を行います。
事業区分	—	実施計画事業	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。

1. 事業の位置付け

事務事業名	地区公民館整備事業		
事業担当	社会教育部 社会教育課		
予算科目	01-100502-010200	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	03	③〈利便性〉誰もが快適に利用できるよう、公共施設などの利便性を高める	
	01	1 安全で快適に利用できる公共施設の充実を図る	
根拠法令等	社会教育法第21条		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： 地域で組織する建設準備委員会】		
目的・目標		事業の概要	
老朽化や狭あい化、市民ニーズの多様化に対応するため、施設の充実が図られています。		生涯学習活動の推進のため、老朽化した中原公民館を整備します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	中原公民館整備進捗率						単位	%
	説明・算定式	H19：実施設計10%、H20：建設工事等70%、H21：外構工事等20%							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		10	80	100	-	-	-	
	実績		10	75					
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
中原公民館の建て替えに伴い、地域の関係団体で組織する「中原公民館建設準備委員会」と協議を行ってきた内容、実施設計に基づく工事計画を踏まえて、地元説明会等を実施することにより、住民の理解を得た上で計画どおり建設工事に着工し、順調に工事が進みました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	公民館は地域の活動拠点として活用されていますが、老朽化及び人口増加による狭あい化などが進んでいるとともに、風水害時の第1次避難施設などとして指定されていることから建て替えが必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	建て替えにより避難施設としての安全確保、社会教育施設としての地域の活動拠点、生涯学習推進のための支援を行うこととなり、有効であります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	地域住民の理解を求めてから工事を進めており、地域活動や交流の拠点として多用途に活用していきます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	地域の関係団体で組織する「中原公民館建設準備委員会」と建設全般に渡って協議を進めてきたことで、地元の意向も反映されて設計された公民館となります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		地域住民や地域団体への情報提供を引き続き行うとともに、工事に伴う苦情や万が一の時の補償等については、的確に対応していきます。		

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			実施設計	解体・特殊基礎・ 建設工事	建設・外構・植栽 工事、太陽光発電 設備など	耐震診断、地質調 査	耐震診断、実施設 計	基本設計、工事
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	19,754	0	0	0
	起債	0	0	0	280,000	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	5,817	0	85,664	12,300	13,000	99,800
事業費 (A)		0	5,817	0	385,418	12,300	13,000	99,800
執行率 (%)		—	—	—				
内 訳	職員 (人)	0.00	0.30	0.20	0.25	0.25	0.25	0.25
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	2,518	1,679	2,089	2,089	2,089	2,089
フルコスト (A+B)		0	8,335	1,679	387,507	14,389	15,089	101,889

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 引き続き、施設の耐震性の向上や老朽化、狭あい化、市民ニーズの多様化に対応していきます。	
平成22年度 of 取組方針	
昭和56年(新耐震設計基準)以前に建築された公民館の耐震診断等を行います。	
課長コメント	着実に事業を展開することにより、生涯学習の地域拠点としての機能の充実を図ります。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		中原公民館の建て替えに伴い、地域の関係団体で組織する「中原公民館建設準備委員会」と建設全般に渡っての協議を完了し、実施設計委託を発注して実施設計が完了した。これにより計画どおり建設工事に向けて準備を進めることができた。	中原公民館の建て替えに伴い、地域の関係団体で組織する「中原公民館建設準備委員会」と協議を行ってきた内容、実施設計に基づく工事計画を踏まえて、地元説明会等を実施することにより、住民の理解を得た上で計画どおり建設工事に着工し、順調に工事が進みました。
検証結果	—	A：成果があがった	A：成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		地域住民や地域団体への情報提供、補償や工事に伴う苦情等について、的確に対応していく。	地域住民や地域団体への情報提供を引き続き行うとともに、工事に伴う苦情や万が一の時の補償等については、的確に対応していきます。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	現状の規模で継続
取組方針		地域住民の理解を求めながら、工事が予定どおりに進むように建築住宅課と連携して進行管理を行う。	昭和56年（新耐震設計基準）以前に建築された公民館の耐震診断等を行います。
事業区分	—	実施計画事業	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。